

基本目標に付随する数値目標の指標一覧

基本目標	シート No.	数値目標	指標担当部課等	指標の 方向性	進捗状況		従前値	単位	H27	H28	H29	H30	H31	目標値	単位	目標年度	H27 実績 値	単位	フォローアッ プ（H27数値 確定）の時期	評価			効果発現要因
					自己評 価	進捗説明														有効性	効率性	総合評価	
Ⅰ つくばの特性をいかした産業競争力の強化でしごとをつくる	①-1	新規正規就職者数の増加	経済部産業振興課、 経済部農業課	↑	B	概ね順調	2325	人	517	1,034	1,550	2,067	2,584	2,584	人	H31年度	調査中	人	H28.4	中：適切な成果が得られている	中：適切な費用対効果が得られている	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施	○ふるさとハローワーク：市の中心部に移転したことにより、従来に比べアクセスが良くなり女性や若者の相談が増えてきた。 ○創業支援：地域の創業希望者・創業者に対し、ワンストップによる支援を図るため、これまでのつくば市商工会や㈱つくば研究支援センターとの連携に加え、日本政策金融公庫や地元金融機関、大学や研究機関を巻き込んだ「オールつくば」の創業支援ネットワークをH26年度に構築し、支援事業を開始したことにより、創業しやすい環境が整ってきた。 ○新規就農：関係機関と連携した相談対応や補助制度等の支援。
	①-2	新規創業数	経済部産業振興課	↑	A	順調	24	人	36	72	108	144	180	180	人	H31年度	44 (27.12 末現在)	人	H28.4	高：成果が向上（高水準を維持）している	高：費用対効果が向上（高水準を維持）している	S：成果・費用対効果を維持して継続実施	地域の創業希望者・創業者に対し、ワンストップによる支援を図るため、これまでのつくば市商工会や㈱つくば研究支援センターとの連携に加え、日本政策金融公庫や地元金融機関、大学や研究機関を巻き込んだ「オールつくば」の創業支援ネットワークをH26年度に構築し、支援事業を開始したことにより、創業しやすい環境が整ってきた。
Ⅱ 結婚し、子どもを産み・育て、健康に生活できる環境をつくる	①-3	合計特殊出生率の向上	保健医療部健康増進課	↑	D	遅れ	1.43	人	1.45	1.48	1.50	1.53	1.55	1.55	人	H31	1.41	人	確定	低：成果が低下（低水準を維持）している	低：費用対効果が低下（低水準を維持）している	E：抜本的な見直しの必要有り	出生率の全国値は近年回復の傾向にあったが、2014年では前年比0.01ポイント低下の1.42で、過去最低の1.26を記録した05年以来、9年ぶりに低下しており、つくば市においても同様に推移したと考えられる。
	①-4	保育所の待機児童数	福祉部こども課	↓	D	遅れ	104	人	88	70	53	35	18	0	人	H31年度	196	人	H28.6	低：成果が低下（低水準を維持）している	中：適切な費用対効果が得られている	D：成果を向上させる必要有り	子育て世代の流入や共働き家庭の増加、新制度への期待による申込者の増加等により、保育需要が増加したため、保育所を一定数整備したにもかかわらず、待機児童が増加した。
Ⅲ 交流・居住環境の魅力を高め、つくばにひとを呼び・ひとを留める	①-5	東京圏からつくば市内への年間転入者数の増加	企画部まちなみ整備課	↑	B	概ね順調	3,843	人	3,921	3,999	4,077	4,155	4,233	4,233	人	H31年度	3,751	人	H28.4	中：適切な成果が得られている	中：適切な費用対効果が得られている	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施	単年度ごとに見ると転入者数の増減にぶれがあるため、5年間を通した長期的な比較が必要と考えられる。
	①-6	つくば市内からの若者（15～29歳）の年間転出者数の増加数抑制	企画部まちなみ整備課	↓	A	順調	5,713	人	5,821	5,917	6,001	6,073	6,133	6,133	人	H31年度	3,984	人	H28.4	中：適切な成果が得られている	中：適切な費用対効果が得られている	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施	転出数は3月に増加する傾向があり、現時点で今年度の転出者数を正確に把握できないため、具体的な評価は来年度以降となる。
Ⅳ 公共交通網で結ばれた安全で安心な地域をつくる	①-7	つくバス利用者数	まちづくり推進部交通政策課	↑	A	順調	888,032	人	924,373	960,714	997,055	1,033,396	1,069,739	1,069,739	人	H31年度	936,000	人	H28.5	高：成果が向上（高水準を維持）している	中：適切な費用対効果が得られている	A：成果を維持して継続実施	交通需要及び市民ニーズに即して、バス停新設やダイヤ見直し等の細やかな運行管理を行い、利用者数の増加につなげている。
	①-8	まちなか居住人口	企画部まちなみ整備課	↑	B	概ね順調	88477	人	91,074	94,559	98,263	102,100	106,023	106,023	人	H31.10	90,835	人	確定	中：適切な成果が得られている	中：適切な費用対効果が得られている	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施	概ね想定値を達成した（99.74％）が、国家公務員宿舎の廃止による人口移動や中心市街地の求心力低下等が想定以上に大きかったことから、若干想定値に達していない。
	①-9	まちなか人口密度	企画部まちなみ整備課	↑	B	概ね順調	36.52	人/ha	37.60	39.03	40.56	42.15	43.77	43.77	人/ha	H31.10	37.50	人/ha	確定	中：適切な成果が得られている	中：適切な費用対効果が得られている	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施	概ね想定値を達成した（99.74％）が、国家公務員宿舎の廃止による人口移動や中心市街地の求心力低下等が想定以上に大きかったことから、若干想定値に達していない。